

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることにより行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[研究課題名] 屈筋腱 Zone 1・2 損傷の治療成績

[研究機関] 帯広厚生病院 医療技術部 作業療法技術科

[研究責任者] 大本 慎也（作業療法士）

[研究の目的] 手の怪我において、指を曲げる腱を損傷する手指屈筋腱損傷は、近年の外科治療技術の向上や手術後早くからのリハビリテーションにより、良好な治療成績を獲得できるとされています。しかしながら、満足いく治療成績に至らない症例の方もしばしばおられるのが現状です。本研究は、当院における zone 1・2 屈筋腱損傷の治療成績を調査・検討し、今後の良い治療につなげることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2018年4月から2022年10月までに開放性の zone 1・2 屈筋腱損傷を受傷し、当院にて手術及び術後リハビリテーションを要した患者様を対象としております。

●利用するカルテ情報

年齢・性別・受傷内容（何指か、損傷形態、合併損傷の有無）・治療内容（手術方法・リハビリ内容）・術後治療成績（可動域）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地 電話 0155-65-0101
医療技術部 作業療法技術科 作業療法士 大本慎也